



# 支援センターだより



2010.8.発行 vol.70

「ア、ア」「ウン、ウン」

久しぶりにローカル線に乗ったら  
わたしの座席の前は

生まれて間もない赤ん坊を抱いた  
まだあどけない若い母親だった

「ウン、ウン」「ウン、ウン」

若い母親は赤ん坊の顔を

一生けんめい見ながら

大きなほっくりをくり返していた

赤ん坊はしきりに

「ア、ア」と声を出しては笑った

そのたびに母親は

「ウン、ウン」をくり返した

なんと満ち足りた光景――

「ア、ア」

「ウン、ウン」

それだけでこの母子の会話は通じる

いのちのいのちのことはだからだ

まだ意味を持たない

原点のことばだからだ

分別以前の魂のことばだからだ

赤ん坊の顔に陽が射してきた

わたしは陽よけをおろしてやった

電車は若葉のまぶしい

山間の鉄橋にかかっていた

詩は声に出して読んでみてください。



暑い毎日が続いています。あなたの夏は、どのような毎日でしょうか。

長い夏休みをどう乗り切るか。保護者の皆さんの悩みどころですが、遠出しなくても、近くの公園に朝早く出かけて、陽が高くなった頃には家に帰ってくる…という快適生活もないわけではないと思うのですが…それぞれの生活パターンがあって、とてとても、そんなの無理という気分でしょうか。

夏はやっぱりキャンプだ一、海だ一という方もいらっしゃるかもしれませんが、思わぬ近くに夏の風物の出会いがあったりします。

先日訪問した幼稚園では、今年は向日葵を育てるのに凝ってますと言う園長先生。広い庭の隅々に畑にと背の高い元気な向日葵が陽射しに向かって咲いていました。園庭の子どもたちは木の幹のナナフシカマキリを指さしてワイワイ。砂場では黒い虫の羽を見せてくれた男の子「かぶとむしさん、ありさんに食べられちゃったんだ」とちょっと淋しそうに教えてくれました。子どもたちって色々な発見を毎日しているなど感じました。小平市内には自然がまだまだいっぱいです。元気村の庭でもウォッチングできますよ。

小平中央公園の森で遊ぼう Part II のチラシが配られていますが、ちょっとした森や林の中は昼間でも木陰での遊びが展開できます。これも、遠くに行かなくても参加できる遊びです。

8月28日～30日には、日本中のプレーパークが一斉に開催するとか。子どもたちが自然に触れる、自由な発想で遊べる、それが広がっていくことは本当に心強いなと思います。応援していきたいと考えます。小平プレーパーク準備委員会の構想も着々と進んでいるのでしょうか。これからを期待したいですね。

この夏の間、休みが長いゆえに、色々と支援の必要なお子さんたちがいます。民生委員さん、主任児童委員さん、学校関係の皆さんたちが応援してくださっているのです。みんなが笑顔で二学期を迎えられるよう、子ども家庭支援センターのスタッフもさらに汗をかく夏ではありますが、互いに元気を分け合えたら！！と思っています。

センターは夏の間もいつも通り開いています。広場はクーラーが効いてますので、どうぞご活用ください。お待ちしております。

